

くまもと半導体関連産業集積形成基本計画の概要

計画のポイント

- ・1960年代に大手企業の半導体製造工場が相次いで進出して以来、日本有数の半導体製造拠点となった熊本県では、既存半導体関連産業の強みを活かし、九州の中央部に位置する地理的優位性など本県が持つ特性を活用し、さらなる半導体関連産業の立地・集積を目指す。
- ・産業集積にあたっては、「熊本県産業振興アクションプラン」に基づく人材育成や技術支援等に関する戦略を基本計画に盛り込み、県内14市21町村が一体となって意欲的に取り組む。

1. 集積区域 14市21町村

(熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、天草市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、合志市、玉東町、和水町、南関町、長洲町、大津町、菊陽町、小国町、南阿蘇村、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、氷川町、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、山江村、苓北町)

2. 集積業種 半導体関連産業

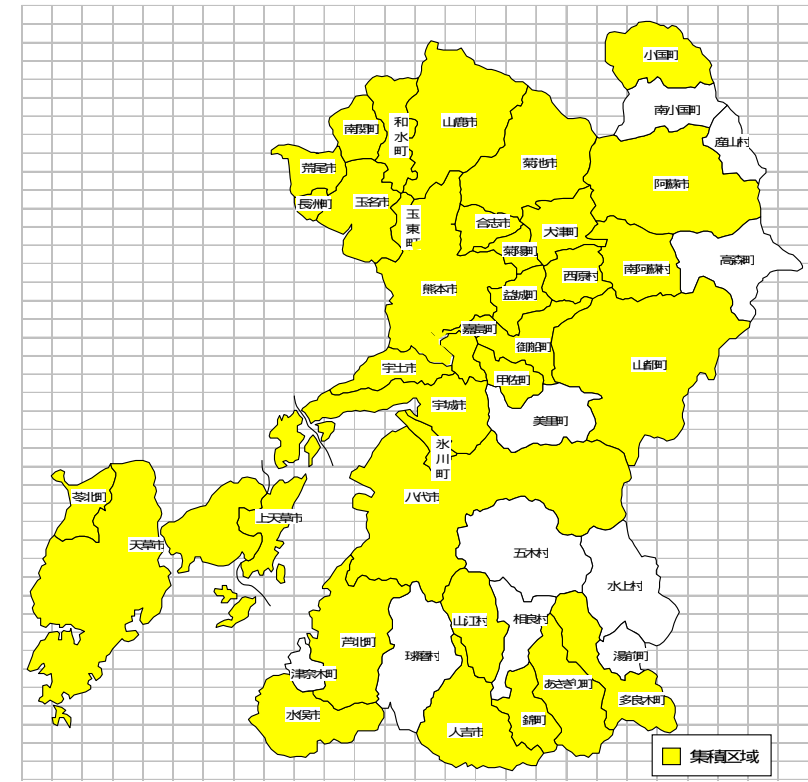
3. 集積区域における集積業種に係る成果目標(目標28年度)

新規立地件数	74件
製造品出荷増加額	2,026.1億円
新規雇用数	1,240人

4. 目標達成に向けた事業環境整備等

「熊本県産業振興アクションプラン」における「セミコンダクタフォレストの形成及び「クリーンフォレストの形成」に位置づける4つの取組

- (人材育成)
 - 技術動向に対応した実践的な研修
 - 環境関連、有機薄膜技術関連の人材育成
- (地域企業の高度化)
 - 地域企業が保有する技術の蓄積、発信
 - 展示化への出展促進、他地域との連携推進
 - 半導体関連企業のクリーン関連分野等への参入支援
- (新産業の創出、研究開発)
 - 有機薄膜関連技術の拠点化
- (企業誘致)
 - フォローアップの徹底、有機デバイス等戦略的な企業誘致
 - グリーン関連企業の誘致



集積対象区域